学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理演習α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂　ネオパルノート　物理基礎						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎回の授業をしっかりと聞き、演習問題に取り組んでください。
基本的に参考書は家で問題を解いてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物理現象についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を習得する。	観察、実験などを通して、物体の運動や様々なエネルギーをグラフや数式で考え、表現するなど、科学的に探究する力を習得する。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	運動と力	・等速直線運動 ・等加速度直線運動 ・落体の運動	a:時刻 t、位置 x、速度 v、加速度 a の意味と単位を理解できる。 b:等加速度直線運動 3 公式で運動の問題を解決できる。 c:重力加速度の測定の実験を意欲的に取り組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート	実験レポート 毎授業の取り組み
2		・力と運動の法則 ・力学的エネルギー	a:運動の法則を理解する。力学的エネルギーの保存則を理解できる。 b:物体に働く力を全て図示できる。運動方程式がたてられるようにする。 c:運動の法則の検証実験や力学的エネルギー保存の実験に意欲的に取り組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート	実験レポート 毎授業の取り組み
3		・放物運動 ・平面上の合成・相対速度	a:斜めや放物運動の基本的な考え方を理解する。 b:１学期学習した直線運動を平面運動に発展させて考えることができる。 c:放物運動の実験を意欲的に取り組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート	実験レポート 毎授業の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度